



無料法律相談会
毎月第1火曜日(おぜき栄子事務所)
TEL(72)7848 FAX(71)8392

ホームページ <http://www.dl.dion.ne.jp/~smileiko>
Eメール smileiko@dl.dion.ne.jp

足利市田中町
第3石川ビル
市議会議員
おぜき栄子

7年6月議会 おぜき栄子の賛否

案No	内容	賛否
39号	市長専決処分事項承認について	○
40号	市長専決処分事項承認について	○
41号	監査委員の選任について	○
42号	固定資産評価員の選任について	○
43号	固定資産評価審査委員会の選任について	○
44号	足利市国民健康保険条例の改正について	○
45号	足利市職員等退手当条例の改正について	○
46号	平成29年度一般会計補正予算(第1号)について	○
47号	財産の取得について	○
48号	財産の取得について	○
49号	栃木県後期高齢者医療広域連合規約の変更について	○
50号	工事委託契約について	○

会期は、6月5日から
6月30日の期間でした。

主な議案は、左記の通りです
①国民健康保険条例
の改正
②一般会計補正予算
サッカー場の人工芝整備
③財産の取得
(救急車など)
などが審議されました。

計画的に進めよ!

H29年度一般会計補正予算のうち2億1640万円は、足利工業大学のフットボール場を足利市が人工芝のサッカー場に整備する補正予算。振興計画や予算計上にもなかったスポーツ施設整備は計画性に欠けること、子どもの全面発達を促えた居場所、スポーツ施設の計画的な財政措置の必要性を指摘して賛成しました。

3日に通2丁目交差点で「アベ政治を許さない」スタンディング(7月3日)



人工芝整備の補正予算の内訳

教育債	1億2200万円
サッカーくじ助成金	5440万円
一般会計	4000万円
合計	2億1640万円

7月9日に市南部で行われた平和行進に参加、
10日には対市交渉を市役所で行いました。



小俣処分場裁判で
地権者が和解に同意!

6月29日宇都宮地裁にて、市長は「湧き水対策や測量費については市側の対応が不十分であったことを認め、遺憾の意を表し、話し合いのチャンスを頂きたい」と初めて謝罪し、和解提案の陳述を行いました。今回で結審し、10月26日に判決となります。

7月10日宇都宮地裁にて和解協議を行い、地権者が和解協議に応じることを明らかにしました。次回の和解協議は8月31日(木)。

おぜきは、3月議会で「一日も早く和解をして埋め立てが出来るようにするべき」と提案をしてきましたが大きな前進であると考えています。ただ、「賃借地の範囲」に対しての謝罪に触れていないことや土地取得が前提の和解として、このため先

議会に上程されず、議
預かりとなった陳情

1. 農業者戸別所得補
度の復活をもとめる陳
情
2. 県立高等学校入学
で再募集実施を求め
書採択・提出にかかわ
情

5月23日、6月5日
の幹事長会議で、議
りとなりました。陳情
足利市議会基本条例
条で、「議会は、請願
情があったときは適
誠実に審議等するこ
ています。県内では
議も含めて、議会
自治体が大半を占
ます。足利市議会は
条例の立場から



地場産業で100年を見据えた雇用対策を！

おぜき:今年4月に執行された足利市長選挙において、和泉市長は選挙活動用ビラの「働く人を支えるまち」の具体的な施策は何か。

市長:あがた駅南産業団地、さらなる工業団地計画に取り組む。

2. 社会保障制度について

広域化を条件に国庫負担の大幅な増額を求めよ！

おぜき:国民健康保険は、他の保険と比較して低所得者が多く、年齢層も低く、保険料負担率も高い構造的な問題を抱えている。H30年4月から広域化でどのように変わるのか。

市長:低所得者への保険料の軽減措置、国保財政への支援拡充、都道府県を財政運営の責任主体とする。

再質問で、国民健康保険は国庫負担の削減により、国保財政を圧迫し、納税者を増やしてきました。広域化を条件に国庫負担を大幅に増やすことを国に働きかけることを求めました。



毛線足利駅前では通勤・通学時間に合わせて、朝に行われた「原発ゼロを求める」宣伝行動。

3. 教育の機会均等、子育て支援について 際限のない無償化は、市議会で行う議論ではない」と答

おぜき:子どもを取り巻く環境は非常に厳しい状況にあり、子どもの貧困が問題になっている。子どもの成長に欠かせない学校給食の無償化を要望する声が

久保田工業団地近くに造成。同団地の雇用状況は768人中、市外の方は548人で7割以上。あがた駅南産業団地は、市民の雇用を確保できるのか。

当局:誘致企業(雇用者側)に足利市民を優先的に雇用することをお願いする。

再質問のなかで、産業団地は、時間と多額の費用を要し、市民の雇用に繋がらない、費用対効果の悪い政策であることを指摘。農地を活用した農業、地元中小企業・足工大・行政の産官学連携の自然再生エネルギー、観光などで雇用確保を提案したが回答なく、あくまでも企業側に市民の雇用をお願いするという回答に終始。

預貯金(給料)の全額差押えは、法律違反！

おぜき:国保税の滞納者が多い中、預貯金などの厳しい差押えが行われている。納税の緩和制度(納税の猶予、延滞税の免除など)の活用と周知はどのようにおこなっているのか。

当局:適切な滞納処分をおこなっている。納税相談のなかで個別に状況をお尋ねして判断、対応している。

再質問の中で、数年前に市民から「預貯金(給料)を全額を差し押さえられた」と事後相談があったことを質しました。給料の全額差押えは、国税徴収法違反です。納税者の立場に立った対応が求められます。

差押え禁止債権

国税徴収法第76条の差押え禁止債権とは、・・・その債権の差押えが滞納者及びその者と生計を一にする親族の最低生活に支障を及ぼすと認められる場合には、執行法第152条第1項に規定する差押え禁止額の限度額においても、その差し押さえは行わないものとする。

当局:H22年に食生活実態調査を実施し、現在、児童生徒対象の学校給食、家庭での食事、日常生活などのアンケートを実施中。低所得者の実態は、生活保護や就学援助の支給状況等により、把握。

おぜき:教育の機会均等という観点から、学校給食を無償化するべきではないか。

より、子どもの医療費窓口無料化拡大を急げ！

おぜき:同ビラには、13項目の公共事業が目白押し。特に富田新駅設置は、必要性、合理性に欠けるなど市民から反対の声があがっている。なぜ必要か議論、公共事業を計画的に進める考えはあるのか。

当局:JRと包括連携協定を結び、JRの利用者の増、駅を中心としたまちづくりを検討の中で新駅構想。H30年4月からデスティネーションキャンペーン(JR、自治体、住民、企業などの協働で行う観光キャンペーン)が開始されることから一番効果的であり、新駅開業となった。

公共事業を計画的に進める考えを質しましたが回答はなく、あくまでも新駅の利点説明に終始。必要性のない公共事業より、子どもの医療費窓口無料化の拡大を優先的に進めるよう当局に求めました。

我が家の庭に咲いた「琉球朝顔」花言葉は「愛情の絆」です。英名は「オーシャンブルー」と花の色がそのまま花名になっています。



給食費の無償化は、国が無償化に関する全国調査を実施する方針をH29年度に示している。今後の動向を注視。

再質問で、市長は「際限のない無償化は、トータルで議論をしないで質の悪い市議会で行う議論ではない」と答。必要性が問われる無計画な新駅設置